

★PCの閲覧をお勧めします(スマートフォンでもご覧いただけます)

わかりやすい ABDA 理論の解説

(ABDA: 4コマの連続画面が論理的な階層構造を持つ対話方略)

© 2025 H. Kidoguchi

英語は習っているのに、英語が出て来ない!
「言いたいこと」があるのに、自分の考えが伝えられない!

その原因は、語彙や文法、教え方ではなく、**思考の組み立て方**にあります。ABDA 理論はこの問題を解決するために生まれた認知科学に基づく全く新しい英語学習システムです。

ABDA 理論とは何か?

① 4コマで楽しく思考が深まる

イラストで描かれた人物たちが、連続4コマの中で対話します。
(自然に議論が深まる構造です: **音声埋め込み PDF**)

② イメージから言葉が生まれる

人物の「言いたいこと」は、吹き出しの中の**素朴な絵**で表現されます。
(言葉は暗記ではなく、**イメージ**から引き出されます)

③ 一つの教材(4コマイラスト: 話題)を、3ステップで使う

4コマのイラストは【聞く⇒ **話す** ⇒ 分析】と、繰り返し使われます。
< (理解) - (**運用**) - (定着) が、一体化します >

④ 3レベルで自然に伸びる

同じ4コマを、初級・中級・上級の3段階で内容を深めます。
(無理なく、表現力と論理性が深まります)

⑤ 15話で、異なった領域の思考力を育てる。

全 15 話は、段階的に内容が深まる構成です。「道案内」・
「遅刻」から「戦争」・「カッコいいとは何か」までを扱います)

⑥ ストーリーの中に入り込むことで、記憶が定着する

全 15 話は、家族6人が経験する多彩な物語として展開されます。

(学習者は家族の一員となり、多彩な状況下で対話を再現・経験することで、
英語表現の記憶や論理性が強化されます。

ABDA 理論は、①～⑥すべて、認知科学に基づき設計された、一貫した学習システムです。

ABDA 理論は、【言語学習の環境への依存】の壁を乗り越えました★
<興味がおありの方は、ホームページ 1-2 で更に理論構造が深まります>

★★ ホームページに戻る ★★